

## 〔4〕健康教育および健康増進のための活動

### 1) 学生のための料理教室

生協組織部の新入生歓迎企画の一つである「料理教室」を一緒に企画，実施した。

日 時 平成12年4月15日（土）9時30分～13時

場 所 生協2階調理室

参加者 15名（男子6名，女子9名）

- 献 立
1. 変わりご飯
  2. 肉じゃが
  3. なすの肉はさみ煮
  4. 豚キムチ
  5. にらたま
  6. オムレツ
  7. プラス1品

①キャベツとパプリカの甘酢炒め

②五目きんぴら

献立は，組織部の希望を尊重し，利用する食材およびプラス1品により栄養的にバランスよい物へと手直しされた。

誰もが手を出すように5グループに分けた。2・3・4に①をプラスの3グループ，そして5・6に②をプラスの2グループ。変わりご飯は組織部が担当した。最初は手間取ったが時間内に終了できた。試食時栄養士により日常の食生活のアドバイス，また健康管理のための保健管理センター利用について看護職より説明を行った。組織部との打ち合わせ回数が少なかったためか，お互いの意思疎通がとれず，不消化に終わった感が強い。今後，共催で実施するのであれば，早い時期から打ち合わせをし，お互いの目的に合った形で共有できれば効果的と考える。

### 2) メンタルヘルス講演会（メンタルヘルス懇談会主催，保健管理センター共催）

対 象 長崎大学教職員及び地域住民

会 場 長崎大学 中部講堂

日 時 平成12年7月31日（月）15時～17時

演 題 「不登校学生への援助について」

講 師 新潟大学名誉教授

仙台白百合女子大学教授人間学部長

石郷岡 泰 先生

参加者 274名

講演会の開催は，メンタルヘルス懇談会にとって3年目，保健管理センターにとっては5年目の企画である。今回は過去最高の参加者数であった。

広報は今年初めて長崎県教育委員会に案内を出し，県下の小・中・高校の職員や保護者に呼び

かけてもらった。高校からの参加はなかったものの、小・中学校関係者の参加が約20名得られた。また学内では各学部の懇談会委員により教職員へ強力に呼びかけてもらった。マイクロバスを手配し坂本地区から17名が利用した。

当日の参加者アンケートの結果(回収率75%)、今回の参加者は、8割は昨年参加していない人達であった。参加動機は仕事上必要だからが半数、メンタルヘルスに関心があるからも約半数。動機については例年と大きくは変わらない。講演会をどんな方法で知ったかを見ると、例年のトップは部局通知であり、新聞・ポスターは少なくなった。今年初めて案内した小・中・高校からの連絡で知ったのは、17名(8%)であった。講演の内容は、約3割が「期待した内容でとても良かった」約6割は「まあまあ良かった」と答えている。今後希望する公演内容としては、具体的な事例やカウンセリングの技法などがあげられた。

今回、生協に協力してもらい、講演会場で講師の著書を販売した。この講師を呼ぶきっかけになった本「登校拒否」(講談社ブルーバックス)や「登校拒否がわかる一問一答」(学事出版)1～3巻を展示し、計44冊を販売した。

平成12年度 メンタルヘルス講演会参加状況

部局 \ 職種	教官	事務官	技官	その他	学生	外部	計
事務局		30		1			31
諸センター	8	1	4	1			14
教育	6	3			1		10
経済	1	6					7
医	2	9		5	1		17
歯	3	13	2				18
薬	6	4			5		15
工	28	6	10	6	12		62
環境	17	8			1		26
水産	4	5					9
医短	8	1					9
図書		2					2
外部						54	54
計	83	88	16	13	20	54	274